

メッセージアウトライン

ヨハネ21：15~19 「あなたは私を愛するか」

死より復活されたイエスは、ガリラヤ湖の岸で弟子たちに再び出會われ、彼らにパンと焼き魚の朝食を与えられた。弟子たちが食事を済ませた時、イエスはペテロに「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか」と言われた。(15) イエスを三度否定した彼に対して、イエスは今そのペテロという名(「岩」の意。将来、岩のようにしっかりした堅い信仰を持つという意味でイエスがつけられた→ヨハネ1:42)を使わない。イエスのこのことばに対して、ペテロは「はい。主よ。私があなたを愛することはあなたをご存知です」と答えた。ペテロはすっかり謙遜になって答えている。ここに彼の悔い改めの姿を見る。

彼の謙遜な返事を聞いてイエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われる。イエスはペテロに信仰者たちの群れを率いていく牧者、指導者としての働きをするように命じられたのである。しかし、イエスはもう一度同じことをペテロに問われ、ペテロもまた同じように答えている。(16) なぜ同じことばを繰り返されるのか。それはイエスを愛する者こそ良き牧者、指導者としての働きができるからであり、最も大切なことだからである。イエスを心から愛する思いを持つ者こそ、信仰者の群れを愛し、養い、牧することができるのである。ペテロの答えにイエスは、「わたしの羊を牧しなさい」と再び言われる。

さらにイエスは三度目にも同じことを言われた。(17) ペテロはイエスが同じことを三度も言われたので心を痛めた。彼は自分が三度イエスを否定したことを思い出しただろう。しかしそのペテロが否定した回数だけ、イエスは「あなたはわたしを愛するか」と問われるのである。これはペテロをもう一度立ち直らせるための配慮であっただろう。「主よ。あなたはいつさいのことをご存知です。あなたは、私があなたを愛することを知っておいでのになります」とペテロは答えた。その言葉を聞いてイエスは三たび「わたしの羊を飼いなさい」と言われた。イエスは三度このように言われることによって、ペテロの三度の失敗とその罪責感を打ち消し、名実ともに教会の指導者としての役割を彼に与えられるのである。

さらにイエスはペテロにその使命ばかりではなく、年をとった時どうなるかということも示された。(18) これはペテロの殉教の預言であった。

イエスが最後に彼に言われたことは、「わたしに従いなさい」(19)であった。今、謙遜にその使命を全うしようと願っているペテロに必要なことは、ただイエスを愛し、イエスのことばにこたえて従っていくことであった。

イエスはこのペテロに対してのように、失敗だらけの私たちに対しても、「あなたは私を愛するか」と迫ってきてくださる。その時、私たちはどう答えるべきだろうか。三度わたしを愛するかと問われたペテロのように、謙遜になって、恐れや思い煩いもすべてこのお方にゆだねて従っていく者になりたい。

この後のペテロの活躍→使徒5:27~32